

第IV部 調査票と単純集計結果

調査期間 令和7年9月5日～9月30日
標本設計数 4,000 有効回収数(率) 1,905 (47.6%)
※「n」は、質問に対する回答者の総数を表す。
「-」は、回答者が皆無であることを示す。
※ 比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

令和7年度(2025年)神奈川県『県民ニーズ調査』(第1回課題調査) 調査票

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。



神奈川県 PR
キャラクター
かながわ
キンタロウ

【テーマ】

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 食の安全・安心 | 8 地震対策の取組み |
| 2 食・食育 | 9 自転車ヘルメットの着用 |
| 3 かながわの農林水産業 | 10 スポーツ |
| 4 かながわの水源地域 | 11 ともに生きる社会かながわ |
| 5 地域社会との関わり | 12 受動喫煙 |
| 6 地域活動 | 13 肝炎対策 |
| 7 治安対策 | |

◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前やご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

ご記入いただいた調査票は、同封の**返送用封筒**に入れ、
9月30日(火)までにご投函ください。
(切手の貼り付け、お名前やご住所の記入は不要です)



※インターネットからもご回答いただけます！
(左記二次元コードから回答画面へ)

インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

【お問い合わせ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

○ お問い合わせフォーム



二次元コードから送信

※9月30日まで受付

○ 電話 (045)210-3672

※ 受付時間 月～金 8:30～17:15

(12:00～13:00を除く／土日祝日は閉庁)

1 食の安全・安心

問1 食品を購入する際に、確認している表示内容がありますか。(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 期限表示(消費期限や賞味期限)	92.4	6 保存方法	41.1
2 原産地や原産国	74.1	7 遺伝子組換え食品に関する事項	22.7
3 アレルギー表示	11.4	8 その他	3.4
4 原材料名	38.6	9 確認している表示内容はない	1.8
5 食品添加物(保存料や着色料など)	35.5		(無回答 1.6)

問2 食中毒を予防する上で重要なことについて、知っていたことを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 食品を購入したら寄り道せずに帰宅する	51.9
2 食品を保存するときは、冷凍庫や冷蔵庫を活用する	94.9
3 調理や食事前によく手を洗う	85.8
4 生肉や生魚を扱った調理器具は、使用後に消毒する	65.8
5 調理した食品はすぐに食べるようにし、残った食品は速やかに適切な温度で保存する	80.9
6 生肉は、食中毒を起こす細菌がついていることがあるので、よく加熱する	82.5
7 どれも知らなかった	0.3
	(無回答 1.7)

問3 調理や食事前によく手を洗う、生肉はよく加熱するなど、食品を安全に食べるために必要な知識を持っていると思いますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 持っていると思う	44.3	4 持っていないと思う	0.6
2 ある程度持っていると思う	47.8	5 分からない	0.7
3 あまり持っていないと思う	4.8		(無回答 1.8)

2 食・食育

問4 「食育」※に関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 関心がある	29.7	4 関心がない	4.6
2 どちらかといえば関心がある	42.4	5 分からない	5.7
3 どちらかといえば関心がない	15.8	(無回答 1.8)	

※ 食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいいます。

問5 歯と口の健康を保つために、かかりつけ歯科医を決めていますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 決めている	75.9	3 分からない	1.2
2 決めていない	21.4	(無回答 1.6)	

【複数人でお住まいの方のみお答えください】

問6 朝食・夕食を同居の方と一緒に食べていますか。 (○はそれぞれ1つずつ) (n=1,504) (%)

【朝食】

1 ほとんど毎日	45.4	3 週に2～3日	11.6	5 ほとんど食べない	27.7
2 週に4～5日	5.5	4 週に1日程度	7.9	(無回答 1.9)	

【夕食】

1 ほとんど毎日	62.8	3 週に2～3日	13.0	5 ほとんど食べない	6.7
2 週に4～5日	10.4	4 週に1日程度	3.9	(無回答 3.2)	

【一人暮らしの方のみお答えください】

問7 昼食・夕食を仲間や友人など、複数で一緒に食べていますか。 (○はそれぞれ1つずつ) (n=306) (%)

【昼食】

1 ほとんど毎日	4.2	3 週に2～3日	8.5	5 ほとんど食べない	59.5
2 週に4～5日	7.8	4 週に1日程度	15.4	(無回答 4.6)	

【夕食】

1 ほとんど毎日	5.9	3 週に2～3日	5.9	5 ほとんど食べない	68.6
2 週に4～5日	0.7	4 週に1日程度	14.7	(無回答 4.2)	

3 かながわの農林水産業

問8 県の農業に特にどのような役割を期待しますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 食料の安定供給	25.0	6 美しい風景や文化の継承	2.8
2 安全・安心な食料の供給	35.1	7 働く場の提供	0.9
3 価格の安い食料の供給	11.7	8 その他	0.7
4 災害時の避難場所など安全な空間の提供	2.4	9 分からない	2.3
5 自然や土とふれあう場・学習の場の提供	1.9		(無回答 17.2)

問9 県内の農林水産業を活性化する上で、「地産地消」※の取組みを重要だと思いますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 重要だと思う	57.2	4 重要だと思わない	2.2
2 どちらかといえば重要だと思う	32.3	5 分からない	5.0
3 どちらかといえば重要だと思わない	1.9		(無回答 1.4)

※ **地産地消**とは、地域の需要に即した生産を行い、その産物を地域で消費するための取組みのことをいいます。

問10 「かながわブランド」※という言葉の意味について知っていますか。

(○は1つ)
(n=1,905) (%)

1 知っている	25.0	3 知らなかった	30.7
2 言葉は聞いたことがある	42.9		(無回答 1.3)

※ **かながわブランド**とは、県と生産者団体が構成する「かながわブランド振興協議会」が登録する、組織的な生産・出荷基準によって品質を確保するなどの要件を満たした農林水産物やその加工品のことをいいます。

問11 環境に配慮した農林水産物や食品※を選ぶよう心掛けていますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 心掛けている	13.2	4 心掛けていない	16.6
2 どちらかといえば心掛けている	43.8	5 分からない	6.8
3 どちらかといえば心掛けていない	18.5		(無回答 1.2)

※ **環境に配慮した農林水産物や食品**とは、近隣の地域で生産されたものや、有機JASマークなど環境への配慮に関する表示のあるもの、過剰包装ではないものなどのことをいいます。

4 かながわの水源地域

問 12 県にあるダム湖（ダム）のうち、知っているものを選んでください。 (〇はいくつでも)
(n=1,905) (%)

1 相模湖（相模ダム）	83.0	4 丹沢湖（三保ダム）	61.2
2 奥相模湖（道志ダム）	22.2	5 宮ヶ瀬湖（宮ヶ瀬ダム）	71.8
3 津久井湖（城山ダム）	60.2	6 どれも知らなかった	5.7
（無回答 1.2）			

問 13 水源地域※で参加したい活動はありますか。 (〇はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 カヌーなどのスポーツ体験	21.4	6 工芸品などの工作体験	21.3
2 野菜や果物の収穫体験	32.6	7 地域のお祭りなどの運営体験	7.1
3 くんせい作りなどの自然を生かした食品 作り体験	20.9	8 その他	1.6
4 まき割りや森林での間ばつなどの林業体験	12.7	9 特にない	34.8
5 山登りなどの自然体験	23.4	10 分からない	3.1
（無回答 1.7）			

※ **水源地域**とは、水道水源としてのダム湖（相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖及び宮ヶ瀬湖）が位置する地域である相模原市（城山地区、津久井地区、相模湖地区及び藤野地区）、山北町、愛川町、清川村のことをいいます。

問 14 「やまなみ五湖」※に関する観光やグルメなどの情報収集をする場合、どの手段を利用したいと思いますか。 (〇はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 パンフレット	28.0	6 Instagram	22.7
2 ポスター・チラシ	21.4	7 その他	1.5
3 ホームページ	56.6	8 特にない	11.2
4 YouTube などの動画媒体	26.5	9 分からない	5.8
5 X（旧 Twitter）	11.9	（無回答 1.4）	

※ **やまなみ五湖**とは、県の北西部にある、相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖及び宮ヶ瀬湖の5つのダム湖の総称のことをいいます。

5 地域社会との関わり

問 15 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしていますか。
(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 そう思う	65.2	2 そう思わない	32.3	(無回答 2.5)
--------	------	----------	------	-----------

6 地域活動

問 16 地域活動(※1)の情報をどこで入手していますか。(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 回覧板	52.3	6 その他	1.2
2 地域の掲示板	34.6	7 どこからも入手していない	11.8
3 自治体の刊行物やホームページなど	37.6	8 分からない、覚えていない	0.9
4 家族や友人、知人からのクチコミ	27.4		
5 個人や団体のチラシやホームページ、ブログ、SNS(※2)など	17.4		(無回答 1.4)

※1 ここという**地域活動**とは、住民などの地域の人が自ら、地域の問題の解決や、生活をより良くするために
行う、様々な活動や取組みのことをいいます。

※2 **SNS**とは、ソーシャルメディアの一つで、例えばX(旧Twitter)、Facebook、Instagramなどのことをい
います。

問 17 地域活動に参加したいと思いませんか。(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 そう思う	32.2	3 分からない	29.8
2 そう思わない	35.7		(無回答 2.2)

→【問17で2を選んだ方へ】

問 17-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=681) (%)

1 負担が大きいと感じるため	50.7	5 興味がないため	29.4
2 人間関係で苦労しそうのため	45.2	6 その他	5.4
3 時間に余裕がないため	51.5	7 特に理由はない	2.3
4 どんな活動があるか知らないため	16.2		(無回答 -)

問 18 どのような地域活動があれば参加してみたいですか。(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 お祭りなどのイベント	37.3	7 子どもや親子向けの活動	14.3
2 ゴミ拾いなどの美化活動	22.8	8 コミュニティカフェなど居場所づくり に関する活動	16.2
3 ガーデニングや植物の手入れなどの活動	13.8	9 新たな活動の立ち上げ	4.0
4 防災に関する活動	27.1	10 その他	1.9
5 スポーツなど体を動かす活動	22.2	11 参加したい活動はない	20.9
6 高齢者や障がい者支援など福祉に関する 活動	10.7		(無回答 3.9)

7 治安対策

問 19 不安に感じる身近な犯罪は何ですか。 (○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 ひったくり	34.4	7 傷害、強盗などの暴力行為を伴う犯罪	51.5
2 特殊詐欺(※1)や SNS 型投資・ロマンス詐欺(※2)	48.6	8 自転車や自動車などの乗り物の盗難	34.2
3 空き巣	61.0	9 インターネットを利用した犯罪(※3)	54.5
4 子どもの誘拐や子どもへのいたずら	36.7	10 大麻や覚醒剤などの薬物犯罪	12.9
5 痴漢や不同意わいせつなどの性犯罪	31.4	11 その他	2.7
6 ストーカー行為	23.5	12 特になし	2.2
		(無回答)	1.6

※1 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みなどにより、不特定多数の者から現金などをだまし取る犯罪のことをいいます。

※2 SNS 型投資・ロマンス詐欺とは、SNS などを通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、指定した預貯金口座への振込みなどにより金銭などをだまし取る犯罪のことをいいます。

※3 インターネットを利用した犯罪とは、コンピューターへの不正アクセス、詐欺、ネットポルノ、児童買春などのことをいいます。

問 20 防犯や交通安全の情報について、得やすいのはどのような方法ですか。 (○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 テレビ	74.4	8 警察からのインターネットでの情報発信※	24.5
2 ラジオ	13.1	9 警察からのメール	8.3
3 新聞	21.9	10 警察官の防犯・交通安全教室	3.4
4 ポスター・チラシなど	25.3	11 警察官の戸別訪問	4.4
5 回覧板	32.3	12 その他	5.5
6 防災無線	16.7	13 特になし	2.4
7 駅前などでのキャンペーン	10.2	(無回答)	1.4

※ 警察からのインターネットでの情報発信とは、警察のホームページ、X (旧 Twitter)、「Yahoo! 防災速報」、神奈川県警察公式の YouTube チャンネルやモバイルアプリ「かながわポリス」などのことをいいます。

問 21 犯罪や交通事故がなく、より安心してくらすために重要だと思うものは何ですか。 (○は3つまで) (n=1,905) (%)

1 防犯カメラなどの防犯設備の整備	74.5	7 交通指導取締りの強化や交通違反などの厳罰化	22.0
2 地域住民同士のつながり	34.0	8 制服警察官、パトカーによる警戒・検問活動	31.4
3 県民や企業と行政が一体となって行う防犯・交通安全活動	14.6	9 運転に不安を覚える方への安全運転相談	8.0
4 防犯、交通安全などの規範意識を高める教育	19.9	10 その他	3.2
5 ボランティアなどによる防犯・交通安全活動	5.5	11 特になし	1.0
6 信号機、道路標識などの交通安全施設の整備	21.4	(無回答)	7.8

8 地震対策の取組み

問 22 家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。 (○はいくつでも)
(n=1,905) (%)

1 持出品の準備や食料などの備蓄	68.7	6 防災訓練に積極的に参加	7.0
2 住まいの耐震化	18.8	7 感震ブレーカー※などの設置	7.2
3 家具・家電などの固定	37.9	8 消火器の設置	21.6
4 避難場所や避難経路の確認	37.7	9 その他	0.7
5 家族と連絡方法の確認	35.3	10 特に対策はとっていない	10.4
(無回答 0.8)			

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題となっています。

※ 感震ブレーカーとは、揺れを感知して電気を止める器具のことをいいます。

9 自転車ヘルメットの着用

問 23 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用するよう気をつけていますか。 (○は1つ)
(n=1,905) (%)

1 常に気をつけている	7.1	4 自転車に乗ることはない	56.0
2 時々気をつけている	6.6		
3 気をつけていない	27.7		(無回答 2.6)

【問 23 で 2、3 を選んだ方へ】

問 23-1 ヘルメットを着用するよう常に気をつけていない理由は何ですか。 (○はいくつでも)
(n=654) (%)

1 髪型が乱れるから	20.8	6 購入する金銭的負担が大きいから	18.7
2 見た目がよくないから	18.5	7 着用しないことによる危険性を感じないから	19.1
3 暑い、蒸れるなど不快に感じるから	49.5	8 その他	10.7
4 着用や準備が面倒だから	43.9	9 特にない、分からない	5.7
5 ヘルメットを保管する場所がないから	20.6		(無回答 0.8)

10 スポーツ

問 24 体力に自信はありますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 ある	7.7	3 どちらかといえない	35.8	5 分からない	6.8
2 どちらかといえばある	31.4	4 ない	17.5	(無回答 0.8)	

問 25 この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツ※をした日数はどのくらいになりますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 週に5日以上	12.9	6 3か月に1～2日程度	6.7
2 週に3日程度	16.2	7 年に1～3日程度	6.8
3 週に2日程度	13.0	8 まったく行わない	16.2
4 週に1日程度	12.3	9 分からない	3.2
5 月に1～3日程度	12.0	(無回答 0.5)	

※ 1回10分程度の運動やスポーツを合計して30分でも構いません。また、レクリエーションとして行う身体活動やウォーキングなどの軽度の運動も含まれます。

問 26 日常の中で無理なく習慣として続けられる運動の時間※はどのくらいだと思いますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 1日5分程度	10.9	5 1日60分程度	9.6
2 1日10分程度	19.9	6 1日60分以上	2.9
3 1日15分程度	20.9	7 無理なく運動を続けることは難しい	6.6
4 1日30分程度	25.8	8 分からない	2.7
(無回答 0.7)			

※ レクリエーション活動やウォーキング、家でできる体操や筋力トレーニングも含まれますが、日常生活を行う上での歩く時間は除きます。また、朝に5分、夜に5分など、継続していない場合でも、合計の運動時間でお考えください。

問 27 スポーツ推進に係る取組みについて、知っているものを選んでください。 (○はいくつでも)

(n=1,905) (%)

1 3033 (サンマルサンサン) 運動 (※1)	4.3	3 かながわパラスポーツ (※3)	5.3
2 総合型地域スポーツクラブ (※2)	6.3	4 どれも知らなかった	85.3
(無回答 1.6)			

※1 **3033 (サンマルサンサン) 運動**とは、運動やスポーツを1日30分、週3回、3か月間継続して行い、くらしの一部として習慣化する取組みのことをいいます。

※2 **総合型地域スポーツクラブ**とは、地域住民によって自主的・主体的に運営され、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)スポーツクラブのことをいいます。

※3 **かながわパラスポーツ**とは、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えることをいいます。

11 ともに生きる社会かながわ

問 28 共生社会（ともに生きる社会）※という考え方を知っていますか。（○は1つ）（n=1,905）（%）

1 知っている	27.5	2 言葉は聞いたことがある	38.1	3 知らなかった	33.1
（無回答 1.3）					

※ 共生社会（ともに生きる社会）とは、障がいの状態や程度にかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いに尊重し、支え合ってくらすことを目指す社会のことをいいます。

問 29 「ともに生きる社会かながわ憲章」を知っていますか。（○は1つ）（n=1,905）（%）

1 知っている	5.5	2 言葉は聞いたことがある	22.8	3 知らなかった	70.2
（無回答 1.5）					

県では、ともに生きる社会かながわの実現をめざし、2016年10月に「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めました。

ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます



問 30 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方について、どう思いますか。（○は1つ）（n=1,905）（%）

1 そう思う	58.6	3 どちらかといえばそう思わない	5.4
2 どちらかといえばそう思う	31.5	4 そう思わない	1.9
（無回答 2.6）			

問 31 障がいのある人は、日ごろの生活の中で、施設や設備、制度などがなかったり、障がいへの理解が足りなかったりすることで、困りごとや不自由さ※を感じていると思いますか。(○は1つ)
(n=1,905) (%)

1 感じていると思う	52.9	4 感じていないと思う	1.5
2 どちらかといえば感じていると思う	30.7	5 分からない	10.6
3 どちらかといえば感じていないと思う	2.5		(無回答 1.9)

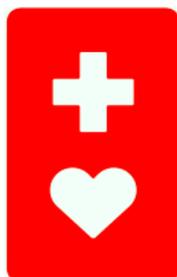
※ ここでいう困りごとや不自由さとは、例えば、障がいを理由に、「診療を断られる」、「契約を断られる」、「避難場所などで我慢している」、「ヘルパーが足りず、自宅で生活できない」ことなどをいいます。

問 32 障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)
(n=1,905) (%)

1 あると思う	43.7	3 あまりないと思う	8.7	5 分からない	5.7
2 少しはあると思う	37.3	4 ないと思う	3.0		(無回答 1.6)

問 33 「ヘルプマーク」を知っていますか。(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 知っている	72.3	2 マークを見聞きしたことはあるが、 意味は知らなかった	10.6	3 知らなかった	15.5
					(無回答 1.5)



ヘルプマークとは、外見から分からなくても援助や配慮を必要とする方が援助を得やすくなるよう、東京都が考案したマークのことをいいます。県でもその目的に賛同し、普及・啓発を進めています。マークの実際の背景色は赤色です。

詳細は、下記HPをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f536306>

問 34 手話やろう者についての理解を深めるために、手話を学ぶとしたら、最も学びたい方法はどれですか。(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 手話講習会	27.2	6 学校教育	5.6
2 手話サークル	7.7	7 その他	0.9
3 インターネット	23.1	8 学びたいとは思わない	10.3
4 本・DVD	3.1	9 分からない	10.6
5 テレビ番組	6.9		(無回答 4.6)

12 受動喫煙

問 35 受動喫煙（※1）により、どのような健康への影響があると思いますか。（○はいくつでも）
 (n=1,905) (%)

1 肺がんなどの生活習慣病の危険性を高める	91.4	
2 子どもの肺炎、中耳炎などの危険性を高める	44.7	
3 乳幼児突然死症候群（※2）の危険性を高める	37.2	
4 妊婦の早産や低体重児（※3）出生の危険性を高める	61.0	
5 その他	1.5	
6 特に健康への影響はないと思う	1.6	
7 分からない	3.6	（無回答 1.5）

※1 受動喫煙とは、自分の意思とは関係なく、周りの人のたばこの煙にさらされることをいいます。

※2 乳幼児突然死症候群とは、何のきざしや病歴もないまま乳幼児が死に至る、原因の分からない病気のことをいいます。

※3 低体重児とは、出生体重 2500g 未満の新生児のことをいいます。

問 36 たばこの健康被害や受動喫煙防止に関して、学校などで教わる時期はいつがよいと思いますか。（○はいくつでも） (n=1,905) (%)

1 小学校	68.6	4 短大・大学・専修学校など	14.5
2 中学校	67.5	5 その他	1.7
3 高等学校	42.8	6 分からない	2.0

（無回答 1.1）

問 37 受動喫煙を防ぐために、県にどのようなことを期待しますか。（○は3つまで） (n=1,905) (%)

1 受動喫煙による健康被害についての普及啓発	43.7	7 受動喫煙を防ぐための規制の強化	34.5
2 喫煙者へのマナー向上のための啓発	52.2	8 規制によらない自主的な取組みの促進	5.0
3 たばこをやめたい人への禁煙サポート	24.1	9 その他	4.4
4 未成年者への喫煙防止教育	40.1	10 特にない	2.9
5 健康増進法や条例※の着実な運用	11.6	11 分からない	2.2
6 規制により受動喫煙対策を行う施設への支援	9.0		

（無回答 4.5）

※ ここでいう条例とは、神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例のことをいいます。

13 肝炎対策

問 38 「ウイルス性肝炎」※という病気を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 知っている	52.2	2 言葉は聞いたことがある	36.0	3 知らなかった	10.3
(無回答 1.5)					

※ **ウイルス性肝炎**とは、肝炎ウイルスにより肝臓の細胞が破壊され炎症が起きる病気のことをいいます。日本では特にB型、C型肝炎にかかる人が多くなっており、肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気に進行することもあります。

問 39 これまでに「肝炎ウイルス検査」※を受けたことがありますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 ある	16.9	3 ない	60.8	(無回答 1.7)
2 受けた可能性がある	7.9	4 分からない	12.7	

※ **肝炎ウイルス検査**は、本人が自覚的に受ける場合のほか、大きな外科手術（全身麻酔での手術で1993年以降に経験）、妊娠・出産（1993年以降に経験）及び献血（1990年以降に経験）をしたときに無自覚に受けた可能性があります。

【問 39 で 1、2 を選んだ方へ】

問 39-1 検査の結果を知っていますか。 (○は1つ) (n=471) (%)

1 知っている	74.5	3 分からない、覚えていない	19.7
2 知らない（結果待ちを含む）	4.9	(無回答 0.8)	

…**

最後に、集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。（個人を特定するものではありません。）

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,905) (%)

1 横浜（横浜市）	38.6
2 川崎（川崎市）	17.0
3 相模原（相模原市）	7.0
4 横須賀三浦（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）	6.7
5 県央（厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）	11.2
6 湘南（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）	14.4
7 県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	3.8
(無回答 1.3)	

F 2 差し支えなければ、あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,905) (%)

1 男性	43.4	2 女性	53.4	(無回答 3.1)
------	------	------	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2025年9月1日現在) (n=1,905) (%)

1	18～19歳	-	5	35～39歳	6.6	9	55～59歳	11.7	13	75～79歳	7.9
2	20～24歳	1.8	6	40～44歳	7.9	10	60～64歳	10.2	14	80歳以上	4.1
3	25～29歳	3.4	7	45～49歳	9.9	11	65～69歳	8.3			
4	30～34歳	4.8	8	50～54歳	11.0	12	70～74歳	7.6		(無回答)	4.8

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものをすべて選んでください。(同居、別居は問いません。) (n=1,905) (%)

1	小学校入学前	6.8	5	短大、専門学校等在学中	0.8	9	その他	2.7
2	小学校在学中	10.4	6	大学、大学院等在学中	8.3	10	子どもはいない	30.6
3	中学校在学中	7.1	7	学校教育終了 [未婚]	22.3			
4	高校在学中	6.5	8	学校教育終了 [既婚]	22.5			(無回答 5.5)

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。 (n=1,905) (%)

1	一人暮らし (単身世帯)	16.1	4	祖父母と親と子の世帯 (3世代世帯)	3.6
2	夫婦のみ (1世代世帯)	27.8	5	その他の世帯	4.1
3	親と子の世帯 (2世代世帯)	43.4			(無回答 5.0)

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,905) (%)

(n=1,191) (%)

1	自営業主	5.0	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア	農林水産業	0.4
2	家族従業者 (家業手伝い)	1.2		イ	商工サービス業 (各種商店、飲食店、工事店などの経営)	4.4
3	勤め (フルタイム)	40.9	エ～ケから 1つ選んで ください。	ウ	自由業 (開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	4.5
4	勤め (パートタイム)	15.2		エ	経営・管理職 (会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	7.1
5	内職	0.2		オ	専門・技術職 (研究員、技術者、勤務医、看護師など)	23.9
6	主婦・主夫 (勤めていない)	13.2		カ	事務職 (事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	24.5
7	学生	0.9		キ	教育職 (教諭、保育士など)	4.9
8	無職	14.4		ク	技能・労務職 (工場の生産工程従事者、運転士など)	9.2
9	その他	2.4		ケ	販売・サービス職 (商店、サービス業などの従業員)	18.3
	(無回答)	6.7				(無回答 2.8)

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、9月30日（火）までにご投函ください。（切手は不要です。）

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

ご意見やご提案を希望するテーマの番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 食の安全・安心 | 8 地震対策の取組み |
| 2 食・食育 | 9 自転車ヘルメットの着用 |
| 3 かながわの農林水産業 | 10 スポーツ |
| 4 かながわの水源地域 | 11 とともに生きる社会かながわ |
| 5 地域社会との関わり | 12 受動喫煙 |
| 6 地域活動 | 13 肝炎対策 |
| 7 治安対策 | |

下記にその内容をご記載ください。

310人（16.3%）から自由意見が寄せられました。

